



実践クラブ
馬渡 光春 議員

問 島原城築城400周年事業

Q 沖田騨の合戦で勝利した縁起の良い森岳に築城と城下町を構築してから平成36年で400周年を迎えるが、
①周年事業に向けた市の基本的な考えは？
②市民や市内事業者、観光客を巻き込んだ事業の推進は？

A ①本年度から7年間で事業期間として「実行委員会」を組織し、事業計画を策定する。天守閣の空調整備、城周辺の無電柱化、歩道の整備などを計画している。
②ソフト事業では、地域の歴史や文化を再確認できるイベントを企画し、県内外へ広くPRするための事業を展開したい。

Q 松平文庫の価値を再確認し、市民と共有してはどうか？

A 平成25年に県の有形文化財に指定された松平家寄贈の資料のほか、各方面からの寄贈された島原ゆかりの古文書資料があり、古写本や絵図が質・量ともに充実している。和書等で約3千件の5千点、寄贈資料は

5千点超で、今後も増える見込み。出前講座でのメニュー化や市民大学講座等での講演などを実施している。

問 学校教育

Q 小学校体育大会の休止について、
①長年続いた大会の目的と評価は？
②休止に至った要因と経緯は？
③保護者・育成会等への対応は十分か？

A ①5・6年生の親睦、体力向上や競技の技術向上が目的であり、教育効果は大きいものがあつた。
②新学習指導要領への対応のため休止した。復活は今のところ考えていない。
③4月と5月の2回、各小学校の会長等に経緯等を説明した。今後、保護者には書面で、子どもたちには学校を通じて周知したい。

Q 児童生徒の安全対策について、
全国で登下校時の問題事案が発生しているが、
①新潟県での事件後、市の対応は？
②市内小・中学校の登下校の状況は？

A ①学校を通じて集団登下校、防犯ブザーの使用などの文書を配布。
②不審者事案が本年度で3件発生。班を編成した集団登下校等の指導を繰り返して行っている。地域の方々による見守りパトロールも実施されており、見守り者の服装をベストで揃えている地区もある。



新風会
永田 光臣 議員

問 島原市水道行政

Q 合併後の水道事業の経緯は。

A 平成20年3月に市水道事業基本計画を策定し、旧有明町3地区の簡易水道の水質改善と統合整備を行った。また、市上水道三会水系の水質改善と油堀・長貫簡易水道及び民営水道の統合整備を行った。

Q 安中地区の水源、水質等の改善策は。

A 本年度から7年計画で、安中水源を廃止し、上の原配水池から安中地区への送水、併せて中木場簡易水道を統合する予定。松が丘団地の漏水については、本年度配水管の布設替え工事を実施し改善したい。

問 島原市都市計画と税

Q 約50年前に制定された都市計画の見直しについて、

①有明町との合併の際に、都市計画区域と課税のあり方の協議はあつたのか。

②合併後の都市計画税の総額、課税対象者数は。
③見直しの議論、審議会への諮問はあつたのか。近隣市の状況は。

A ①合併後、新市全域において都市計画基礎調査を行い、検討、調査するとなつている。準都市計画の説明を行ったが、理解を得られなかつた。
②平成18～28年度で総額約39億1900万円。平成29年度の固定資産税納付者数は1万8560人、都市計画税の課税対象者数は1万2849人である。
③都市計画審議会の中で、区域の範囲を広げるべきとの意見があつた。税率の議論はない。松浦市では都市計画税を廃止した。

問 犯罪被害者等支援

Q 本市の犯罪被害者支援の状況と近隣自治体の支援条例制定の状況は。

A 相談を受けた内容に応じ、現在の制度で支援している。支援条例は、佐賀、沖縄、福岡、大分の4県、県内では佐世保市が3月に制定した。

Q 本市で支援条例制定の考えは。

A 他自治体への呼びかけ、県の動向も踏まえ、寄り添える条例制定を含め犯罪被害者支援に取り組みたい。